

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧【全204項目】

別紙

1. 他の審議会で審議する項目【30項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁		2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明	
徳島県観光審議会(徳島県観光振興基本計画(第3期)見直し関係)										
1	316	3-2-1	141	○県内への外国人延べ宿泊者数(暦年) (’17) 102,810人→(’22) 168,000人	134,000 人	①		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催等	商工
2	318	3-2-1	141	○圏域内での外国人の年間延べ宿泊者数(暦年) (’17) 2,386人→(’22) 11,000人	6,000人	①		◎	オンライン観光商談会へ の参加や国内の海外メ ディア等を対象としたファ ムトリップを実施した。	南部
3	319	3-2-1	142	○「にし阿波」における外国人延べ宿泊者数(暦 年) (’17) 28,824人→(’22) 35,000人	31,500人	①		◎	海外エージェンツへのオン ラインプロモーションを実 施した。	西部
4	324	3-2-2	143	○観光入込客数(暦年) (’17) 1,951万人→(’22) 2,070万人	2,020 万人	①		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催や宿泊助成の実 施等	商工
5	324	3-2-2	143	○年間の延べ宿泊者数(暦年) (’17) 230万人→(’22) 300万人	270 万人	①		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催や宿泊助成の実 施等	商工
6	324	3-2-2	143	○観光消費額(暦年) (’17) 889億円→(’22) 1,200億円	1,170 億円	①		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催や宿泊助成の実 施等	商工
7	325	3-2-2	143	○「徳島観光アプリ」のダウンロード数(累計) (’17) →→(’22) 6万件	3万件	①		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催や宿泊助成の実 施等	商工
8	325	3-2-2	143	○「おもてなしタクシー」の指定数(累計) (’17) 71台→→(’22) 180台	140台	①		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催や宿泊助成の実 施等	商工
9	326	3-2-2	143	○体験型教育旅行における 延べ受入泊数(協議会受入) (’17) 4,967泊→(’22) 6,000泊	5,500泊	①		◎	旅エチケットの周知等	商工
10	329	3-2-2	144	○ロケ支援件数 (’17) 59件→(’22) 85件	75件	①		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催等	商工
11	330	3-2-2	144	○観光情報サイト総アクセス件数 (’17) 523万件→(’22) 600万件	560万件	①		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催や宿泊助成の実 施等	商工
12	337	3-2-3	145	【とくしまマラソン開催関係】 ○ランナー満足度 (’17) 76.8点→(’22) 85.0点	82.0点	③		○	開催する場合は、定員を 例年の1／3とし、感染拡 大防止策を徹底する。	商工
13	343	3-2-4	146	○「クルーズ来県者数」(直近4年の累計) (’17) 26,636人 → (’22) 70,000人	35,000人	④	クルーズ船の運航中 止	◎	・クルーズ船の再開向け て、関係者によるWEB会議 に参加し、受入れについて の情報を収集。 ・クルーズ船を誘致するた め、船社へ港や新たな観 光コース等の情報をメール で発信。	県土
14	340	3-2-3	145	○コンベンション(中四国規模以上)の参加者数 (’17) 107,764人→(’22) 140,000人	12万人	②		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催等	商工
15	461	4-1-1	170	【再掲】○観光消費額(暦年) (’17) 889億円→(’22) 1,200億円	1,170 億円	①		◎	旅エチケットの周知や、感 染予防策を徹底したイベ ントの開催や宿泊助成の実 施等	商工
16	499	4-5-1	180	【再掲】○ロケ支援件数 (’17) 59件→(’22) 85件	75件	①		◎	旅エチケットの周知等	商工
徳島県農林水産審議会(第4期徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画策定関係)										
17	10	1-1-1	76	○「未来ある農山漁村づくり」に向けたビジョンの 作成地区数(累計) (’17) 9地区→(’22) 24地区	18地区	③		○	ビジョン作成に代わり、感 染防止対策を講じた上で、 ビジョン等に基づく活動の 実践を支援。	農林
18	21	1-1-2	78	○農業系大学生等による インターンシップ参加者数 (’17) 176人→(’19) ～(’22) 年間180人	180人	③		◎	インターンシップに関する 感染防止対策の徹底等につ いて各大学等へ通知。 新規就農者の動画を作成 し、配信。	農林

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧【全204項目】

1. 他の審議会で審議する項目【30項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値 2020 (R2)	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁			①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明	
19	356	3-3-2	149	○県産材の生産量 (’17) 37.5万㎡→(’22) 56.3万㎡	48.0 万㎡ ³	④	原木市場等で原木の 滞留が発生したため	◎	感染防止対策を講じた上 で、人工造林や作業道開 設等を支援	農林
20	361	3-3-2	150	○農工商連携等による 6次産業化商品開発事業数(累計) (’17) 273件→(’22) 550件	430件	①		◎	オンラインでの6次化人材 育成研修等を開催	農林
21	327	3-2-2	143	○とくしま農林漁家民宿数 (’17) 49軒→(’22) 75軒	65軒	①		◎	新型コロナに対応した宿泊 客受入研修を実施	農林
22	327	3-2-2	143	○とくしま農林漁家民宿の宿泊者数 (’17) 3,713人→(’22) 6,000人	5,200人	①		◎	新型コロナに対応した宿泊 客受入研修を実施	農林
23	291	2-5-1	133	○「阿波地美米×狩猟フェスタ」の開催 (’19)～(’22) 開催	-	③		◎	当該イベントの代わりに、 感染防止対策を徹底した 県内料理店でジビエキャン ペーンを開催	農林
24	364	3-3-3	150	○「Turn Table」での販売総売上額 (’17) 0.1億円→(’22) 2.5億円	2.3億円	①		◎	感染防止対策を講じると ともに、テイクアウトメニュー 開発や近隣の子ども向け 弁当配布、マルシェ拡充を 実施	農林
25	364	3-3-3	150	○「Turn Table」の利用者数 (’17) 0.6万人→(’22) 3.5万人	3.0万人	①		◎	感染防止対策を講じると ともに、テイクアウトメニュー 開発や近隣の子ども向け 弁当配布、マルシェ拡充を 実施	農林
26	373	3-3-3	152	○タテ藍の栽培面積 (’17) 16h a→(’22) 25h a	25ha	③		◎	感染防止対策を取りなが ら、藍の栽培・収穫作業を 実施	農林
27	380	3-3-5	154	○県産材の生産量(再掲) (’17) 37.5万㎡→(’22) 56.3万㎡	48.0万㎡ ³	④	原木市場等で原木の 滞留が発生したため	◎	感染防止対策を講じた上 で、人工造林や作業道開 設等を支援	農林
28	384	3-3-5	154	○県内の県産木材消費量 (’17) 13.8万㎡→(’22) 18.3万㎡	16.5 万㎡	④	住宅需要の減少等 によるもの。	○	県内外事業者とリモート商 談会を予定	農林
29	386	3-3-5	155	○県産材の県外出荷量 (’17) 25.4万㎡→(’22) 30.6万㎡	27.8 万㎡	④	住宅需要の減少等 によるもの。	○	県内外事業者とリモート商 談会を予定	農林
30	510	5-1-2	185	○県産材の生産量 (’17) 37.5万㎡→(’22) 56.3万㎡	48.0万㎡ ³	④	原木市場等で原木の 滞留が発生したため	◎	感染防止対策を講じた上 で、人工造林や作業道開 設等を支援	農林

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

2. 令和3年度当初予算等にあわせて検討する項目

(1) 感染予防対策(往来自粛、イベント延期、人数制限等)による影響 【139項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁		2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明	
1	1	1-1-1	74	○移住者数 (‘17) 1,200人→(‘22) 1,800人	—	④	緊急事態宣言等で人の動きが抑制される一方で、解除後には都市部の密を避け、新しい働き方を導入した地方回帰の動きも見られるなど、両面の影響がある。	◎	情報発信・移住相談・魅力体験の各ステージで取り組んでいる様々な事業について、オンラインの活用を検討・導入したり、感染防止を図りながら、効果的な事業の実施に取り組んでいる。	政策
2	1	1-1-1	74	○移住相談件数 (‘17) 1,754件→(‘22) 2,800件	2,700件	③		◎	平時の移住相談はもとより、セミナーやフェアもオンライン相談システムを導入するなどして、相談体制の安全化・多様化を図っている。	政策
3	1	1-1-1	74	○とくしまで住み隊員数 (‘17) 699人→(‘22) 1,500人	1,300人	③		—		政策
4	2	1-1-1	74	○県外交流拠点での交流イベント参加者数(累計) (‘17) →(‘22) 150人	50人	④	イベント開催と、感染症対策との比較均衡を考慮する必要がある	○	オンラインイベント等を予定	政策
5	2	1-1-1	74	○「徳島ファン・ドラフト会議イベント」の開催 (‘19) 開催	—	④	イベント開催と、感染症対策との比較均衡を考慮する必要がある	○	オンラインイベント等を予定	政策
6	4	1-1-1	75	○「デュアルスクール」実施回数(累計) (‘17) 7回→(‘22) 36回	24回	④	往来自粛	◎	実施する際のガイドラインを作成した。	教育
7	7	1-1-1	75	○コワーキングスペース利用者数の拡大 (‘17) 1,500人→(‘22) 3,000人	2,300人	①		◎	11月政策提言でコワーキングスペース支援を要請。	政策
8	8	1-1-1	75	【とくしま産学官連携プラットフォーム関係】 ○プラットフォームを核として実施する事業数 (‘17) →(‘19) ～(‘22) 年間8件	8件	③		◎	一部にオンラインを活用した。	政策
9	20	1-1-2	77	○とくしま農林漁家民宿の宿泊者数(西部圏域) (‘17) 2,265人→(‘22) 2,800人	2,600人	①		◎	コロナ禍でも継続的に宿泊客を受け入れるため、衛生対策研修を実施した。	西部
10	24	1-1-4	79	【再掲】○県外交流拠点での交流イベント参加者数(累計) (‘17) →(‘22) 150人	50人	④	イベント開催と、感染症対策との比較均衡を考慮する必要がある	○	オンラインイベント等を予定	政策
11	24	1-1-4	79	【再掲】○「徳島ファン・ドラフト会議イベント」の開催 (‘19) 開催	—	④	イベント開催と、感染症対策との比較均衡を考慮する必要がある	○	オンラインイベント等を予定	政策
12	26	1-1-4	79	○徳島国際映画祭ゆかりの作品の県内外イベント等での上映 (‘17) 4回→(‘22) 8回	6回	③		○	オフライン(屋外開放型)とオンラインのブレンド開催となる映画祭を実施予定	政策
13	27	1-1-4	79	【再掲】○「デュアルスクール」実施回数(累計) (‘17) 7回→(‘22) 36回	24回	④	往来自粛	◎	実施する際のガイドラインを作成した。	教育
14	28	1-1-4	80	○各国大使館等と連携した「阿波おどり」の海外公演及び指導者派遣回数(累計) (‘17) 4回→(‘22) 30回	20回	②	海外との往来自粛・渡航制限	◎	オンラインを活用した「阿波おどり」の魅力発信を実施	商工
15	30	1-1-4	80	○徳島版「とくしま文化プログラム」の開催 (‘19) ～(‘21) 開催	—	④	県内イベントの多くが中止となり、広報事業が困難	○	映像制作による広報事業を予定している	未来
16	30	1-1-4	80	○阿波人形浄瑠璃公演等入場者数 (‘17) 36,343人→(‘22) 38,000人	37,000人	④	関連イベントの多くが中止となる上、入場者の大幅な減少が予想される	◎	関連施設では様々な手法を採り入れたが、入場者数に直結するものではない	未来
17	41	1-2-1	83	【徳島県立総合大学校(まなびーあ徳島)関係】 ○主催講座受講者数 (‘17) 96,668人→(‘22) 100,000人 *過去4年平均	100,000人	③		◎	一部講座にオンラインを活用した。	政策
18	41	1-2-1	83	【徳島県立総合大学校(まなびーあ徳島)関係】 ○高等教育機関と連携して開発するリカレント教育プログラム数 (‘17) →(‘22) 14件(累計)	10件	③		◎	一部講座にオンラインを活用した。	政策

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

2. 令和3年度当初予算等にあわせて検討する項目

(1) 感染予防対策(往来自粛、イベント延期、人数制限等)による影響 【139項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁		2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明	
19	47	1-2-1	84	○モデル事業による「介護助手」雇用施設数(累計) (‘17) 12施設→(‘22) 125施設	75施設	④	アクティブ・シニアの応募者が減少	◎	・応募期間の柔軟化 ・感染症対策の徹底 ・広報の強化	保健
20	48	1-2-1	84	○支援制度を活用した「保育助手」雇用施設数(累計) (‘17) →(‘22) 50施設	25施設	④	施設側もアクティブシニア世代の雇用に慎重になっている	-		未来
21	56	1-3-1	86	【スマホアプリ「健康ポイント」関係】 ○スマホアプリ参加者数 (‘17) →(‘22) 25,000人	15,000人	④	コロナによる活動自粛を懸念	◎	ニューノーマルに対応した活動方法を提案し、参加者を積極的に募集	保健
22	57	1-3-1	86	○介護保険施設における「健康にぎわいの場」実施施設数(累計) (‘17) →(‘22) 16施設	8施設	③	コロナによる対象施設の利用制限あり	○	ニューノーマルに対応した事業実施方針を検討	保健
23	58	1-3-1	87	○肥満傾向の児童生徒数(小中学校) (‘17) 4,979人→(‘22) 2017年度比6%減	3%減	④	3月からの2か月半に及ぶ学校の臨時休業により肥満傾向が進むという影響が考えられる。	◎	学校の臨時休業期間から家庭学習応援動画の配信を行い、家庭でできる運動や食育学習を促進した。	教育
24	62	1-3-1	88	○「西部健康防災公園」を活用したスポーツやレクリエーションでの利用者数 (‘17) 91,772人→(‘19) ～(‘22) 年間10万人以上	10万人	③		◎	開催するイベント等を新生活様式に対応したものに直した。	西部
25	63	1-3-1	88	○「介護予防リーダー」が活動している「通いの場」の数(累計) (‘17) 35箇所→(‘22) 140箇所	100箇所	④	公民館等の利用制限、また感染防止対策にともなう活動の減少。	◎	3密を避けるなど感染防止対策をとった上で活動している。	保健
26	65	1-3-2	88	【再掲】○モデル事業による「介護助手」雇用施設数(累計) (‘17) 12施設→(‘22) 125施設	75施設	④	アクティブ・シニアの応募者が減少	◎	・応募期間の柔軟化 ・感染症対策の徹底 ・広報の強化	保健
27	66	1-3-2	88	【再掲】○支援制度を活用した「保育助手」雇用施設数(累計) (‘17) →(‘22) 50施設	25施設	④	施設側もアクティブシニア世代の雇用に慎重になっている	-		未来
28	67	1-3-2	89	【徳島県立総合高等学校(まなびーあ徳島)関係】 【再掲】○主催講座受講者数 (‘17) 96,668人→(‘22) 100,000人 *過去4年平均	100,000人	③		◎	一部講座にオンラインを活用した。	政策
29	67	1-3-2	89	【徳島県立総合高等学校(まなびーあ徳島)関係】 【再掲】○高等教育機関と連携して開発するリカレント教育プログラム数 (‘17) →(‘22) 14件(累計)	10件	③		◎	一部講座にオンラインを活用した。	政策
30	68	1-3-2	89	○生きがいづくり推進員の活動延べ人数 (‘17) 2,084人→(‘22) 2,700人	2,500人	④	シルバー大学校・同大学院の休校に比べ、イベントの中止などにより、生きがいづくり推進員の活動が減少した。	-		未来
31	69	1-3-2	89	○県健康福祉祭等のスポーツ及び文化交流大会等の参加者数 (‘17) 4,184人→(‘22) 5,000人	4,870人	③	県健康福祉祭は9月末まで開催中止 全国健康福祉祭は翌年度に延期	-		未来
32	71	1-3-3	89	○介護に関する入門的研修全課程(2課程)修了者数(累計) (‘17) →(‘22) 300人	180人	③		◎	集合研修での実施のため、研修時期をずらして研修を行った。	保健
33	73	1-3-3	90	【再掲】○「介護予防リーダー」が活動している「通いの場」の数(累計) (‘17) 35箇所→(‘22) 140箇所	100箇所	④	公民館等の利用制限、また感染防止対策にともなう活動の減少。	◎	3密を避けるなど感染防止対策をとった上で活動している。	保健
34	81	1-4-2	92	【障がい者就労支援事業所関係】 ○施設利用者の工賃(月額) (‘17) 21,465円→(‘22) 23,300円 (全国(‘17) 15,603円)	22,500円	④	県内イベント等の中止や訪問販売の減少等による。	◎	就労施設への補助、オンラインによる工賃向上研修会の実施、ECサイトを構築することにより、訪問販売からネット販売への移行等、工賃向上の取組を支援	保健
35	89	1-4-2	93	○「発達障がい者総合支援センター」の関係機関への助言件数 (‘17) 61件→(‘22) 年間70件	65件	④	機関コンサルの依頼減	○	ニーズに応じて実施予定	保健

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

2. 令和3年度当初予算等にあわせて検討する項目

(1) 感染予防対策(往来自粛、イベント延期、人数制限等)による影響 【139項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁			2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明
36	89	1-4-2	93	○「発達障がい者総合支援センター」の外部機関や地域 住民への研修、啓発件数 (‘17) 89件→(‘22) 年間110件	100件	④	講師派遣依頼の減及 びイベントの減	◎	啓発事業の様子をオンラ イン発信した	保健
37	91	1-4-3	93	○県内大学等への留学生受入数 (‘17) 399人→(‘22) 500人	450人	③		◎	オンラインを活用したオー プンキャンパスを実施し た。	政策
38	93	1-4-3	94	○とくしま外国人支援ボランティア登録者数 (‘17) 303人→(‘22) 390人	370人	④	ボランティア登録の依 頼を周知する機会が減 少している。	○	ボランティア養成研修につ いては、オンライン研修で 開催することを検討中	未来
39	94	1-4-3	94	○国際理解支援講師派遣の件数 (‘17) 66件→(‘22) 87件	79件	④	国際イベントや学校の 出前講座の開催が減少 しており、国際理解 支援講師の派遣要請 も減少	○	オンライン開催による講師 派遣依頼があれば応じ ることとしている。	未来
40	96	1-4-3	94	○外国人向け防災研修会参加人数 (‘17) 195人→(‘22) 245人	225人	④	学校等で開催している 防災出前講座が減少 し、災害訓練等の参加 者数も減少。	◎	大規模災害訓練をオンラ インで開催した。今後の防 災出前講座についても、オ ンライン開催の要請に応じ ることとしている。	未来
41	97	1-4-3	94	○県庁舎見学参加者数 (‘17) 617名→(‘19) ～(‘22) 年間680名以上	680名	③		◎	感染防止対策を徹底の 上、参加人数多数の場合 は、班分けを行い実施	監察
42	100	1-4-4	95	○人権教育指定研究発表会への参加校(園)の割合 (‘17) 70%→(‘22) 72%	71%	③		◎	校種によってオンラインを 活用し実施	教育
43	111	1-5-1	98	○結婚支援拠点が管理する男女の出逢いの場等 への参加者数(累計) (‘17) 2,310人→(‘22) 10,000人	6,500人	③		○	会員のニーズをもとにオン ラインイベント等を実施予 定	未来
44	111	1-5-1	98	○男女の出逢いの場等におけるカップル成立数(累計) (‘17) 355組→(‘22) 2,000組	1,300組	③		○	会員のニーズをもとにオン ラインイベント等を実施予 定	未来
45	114	1-5-2	98	○交流イベントの参加組数(累計) (‘17) 252組→(‘22) 1,360組	920組	③		-	別途実施している電話相 談で対応予定	未来
46	115	1-5-2	99	○子育て支援員の認定数(累計) (‘17) 638人→(‘22) 1,600人	1,200人	④	コロナ感染拡大を懸念 し研修受講者数減	◎	一部の講義についてDVD 視聴等の代替手段により 実施	未来
47	116	1-5-2	99	【再掲】○支援制度を活用した「保育助手」雇用施設数 (累計) (‘17) →(‘22) 50施設	25施設	④	施設側もアクティブシ ニア世代の雇用に慎重 になっている	-		未来
48	119	1-5-2	99	【児童福祉業務に携わる人材育成関係】 ○研修会受講者数 (‘17) 4,276人→(‘22) 5,000人	4,900 人	④	コロナ感染拡大を懸念 し研修受講者数減	◎	一部の研修について県外 講師のみWEBで実施	未来
49	121	1-5-2	99	○子育て支援パスポート事業協賛店舗数 (‘17) 1,028店舗→(‘22) 1,240店舗	1,180 店舗	④	訪問控えによる協賛依 頼の減少	○	ラジオや電話など対面によ らない方法で協賛依頼を 実施予定	未来
50	123	1-5-2	100	○子どもの未来応援コーディネーター*養成研修 終了者数(累計) (‘17) 20人→(‘22) 110人	90人	④	感染防止のための研 修方法の見直し	◎	オンラインを活用し、多数 の参加があった。	未来
51	125	1-5-2	100	【小児医療電話相談事業(※8000) 関係】 ○#8000の相談実績 (‘17) 9,990件→(‘22) 11,300件	11,100件	④	感染症対策によって、 手指消毒等を徹底した 結果、感染症に罹患す る子どもが減少したた め	◎	電話相談事業であり、コロ ナ禍での県民の安心安全 に繋がるため、引き続き利 用促進に努める。	保健
52	129	1-5-3	100	○「母子・父子自立支援プログラム」を 活用した就職率 (‘17) 56%→(‘19) ～(‘22) 56%以上	56%	④	雇用情勢の悪化	◎	支援対象者の希望により、 オンラインを活用。	未来
53	129	1-5-3	100	【再掲】○子どもの未来応援コーディネーター養成研修終 了者数 (累計) (‘17) 20人→(‘22) 110人	90人	④	感染防止のための研 修方法の見直し	◎	オンラインを活用し、多数 の参加があった。	未来
54	129	1-5-3	100	○ホームフレンド【児童訪問援助員】派遣回数 (‘17) 53回→(‘22) 100回	70回	④	感染防止のための派 遣縮小	-	実際に家庭に赴くことで、 それぞれの課題が見える ため、訪問は欠かせない。	未来
55	131	1-5-3	101	○里親等委託率 (‘17) 13.0%→(‘22) 24.6%	17.9%	④	施設への部外者立入 制限によるマッチング 制限	◎	里親支援のためのサロン をオンライン化	未来

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

2. 令和3年度当初予算等にあわせて検討する項目

(1) 感染予防対策(往来自粛、イベント延期、人数制限等)による影響 【139項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁			2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明
56	157	2-1-2	107	○教員防災士養成数(累計) (‘17) 42人→(‘22) 165人	105人	③		○	開催時期を遅らせるとともに、会場での受講生間の距離を広げるため人数を半分に減らして実施する予定	教育
57	157	2-1-2	107	○中学・高校生防災士養成数(累計) (‘17) 373人→(‘22) 900人	700人	③		○	開催時期を遅らせるとともに、会場での受講生間の距離を広げるため人数を半分に減らして実施する予定	教育
58	176	2-1-3	110	○DMATの体制整備 (‘17) 28チーム→(‘22) 32チーム	30チーム	④	国主催研修の開催回数減少。	○	県主催研修の実施時の受講者決定や会場選定に際して、対応を行う。	保健
59	176	2-1-3	110	○「DPAT」(災害派遣精神医療チーム)の 資質向上のための研修会の開催 (‘17) 2回→(‘19)～(‘22) 2回以上	2回	④	医療関係者及び医療機関等での感染防止対策のため	◎	感染防護策を講じ開催 コロナ禍に即応した対応訓練を別途実施	保健
60	176	2-1-3	110	○BCP策定病院数 (‘17) 20病院→(‘22) 40病院	30病院	③	県主催研修の開催時において、オンライン開催等を検討。	○	県主催研修の開催時において、オンライン開催等を検討。	保健
61	233	2-3-1	121	○特定行為研修を修了した看護師数(累計) (‘17) 11人→(‘22) 34人	24人	④	県外受講ができず、年度内に養成課程を修了できない例がある	◎	主催者においてオンライン研修などを実施	保健
62	233	2-3-1	121	○在宅医療でのがん、緩和医療を担う薬剤師数(累計) (‘17) →(‘22) 80人	40人	④	徳島県薬剤師会が行う実地研修の実施制限	○	感染防止対策に留意しながら、講師とともに在宅訪問を行う実地研修を実施予定	保健
63	234	2-3-1	121	○病院事業における訪問看護の実施件数 (‘17) 780件→(‘19)～(‘22) 毎年800件以上 (‘20) 三好病院で訪問看護開始)	800件	④	利用希望者の減少及びコロナ対応により看護体制が整わないため	—	開始時期を遅らせ、導入時期を検討する。	病院
64	235	2-3-1	122	○高校生の献血率 (‘17) 2.5%→(‘22) 2.9%	2.7%	④	徳島県赤十字血液センターが行う高校での献血セミナーの減少	○	献血推進動画の作成により、学校訪問せずに啓発活動を実施する方法も取り入れる。	保健
65	237	2-3-1	122	【小児医療電話相談事業(※8000) 関係】 【再掲】 ○※8000の相談実績 (‘17) 9,990件→(‘22) 11,300件	11,100件	④	感染症対策によって、手指消毒等を徹底した結果、感染症に罹患する子どもが減少したため	◎	電話相談事業であり、コロナ禍での県民の安心安全に繋がるため、引き続き利用促進に努める。	保健
66	244	2-3-2	123	○がん検診受診率の向上(暦年) (‘16) 胃34.8%、肺41.2%、大腸33.5%、 乳41.3%、子宮39.0%→(‘22) 48.3%	—	④	コロナによる検診受診控えや、検診機関での受診人数制限	◎	医療機関や、検診機関に感染予防対策を実施した上で取り組むよう要請するとともに、周知啓発を実施	保健
67	248	2-3-3	123	○難病医療機関数 (‘17) 1,030機関→(‘22) 1,442機関	1,271 機関	④	コロナによる受診控え	◎	患者及び医療機関に対し感染対策を実施の上、適切に医療機関に受診するよう周知	保健
68	271	2-4-4	128	○獣医学生のインターンシップ受入人数 (‘17) 14人→(‘19)～(‘22) 年間14人	14人	③		◎	オンライン説明会を随時開催できる体制を構築	危機・ 農林
69	271	2-4-4	128	○獣医師修学資金貸与者数 (‘17) 3人→(‘19)～(‘22) 年間4人	4人	③		◎	オンライン説明会を随時開催できる体制を構築	危機・ 農林
70	299	3-1-1	137	○企業人材育成研修の受講者数 ※平成長久館および長久館連携講座を合わせた受講者数 (‘17) 6,355人→(‘22) 6,800人	6,600人	④	個別指導が必要な講座は中止 一部オンライン講座への変更	◎	オンライン講座の導入	商工
71	299	3-1-1	137	○「第4次産業革命関連講座」の受講者数 (‘17) 227人→(‘22) 350人	290人	④	個別指導が必要な講座は中止 一部オンライン講座への変更	◎	オンライン講座の導入	商工
72	310	3-1-2	139	○4K・VR映画祭の開催 (‘18) 拡大→(‘19)～継続	—	④	リアル開催から、オンライン開催に変更	◎	オンラインへの実施方法の変更	商工
73	311	3-1-2	139	○県内企業における外国人ICT技術者の受入れ (‘20) 受入れ	—	②	海外との往来自粛・渡航制限	—	新型コロナウイルスの世界的な大流行による感染リスクを考慮し、事業実施を見送った。	商工

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

2. 令和3年度当初予算等にあわせて検討する項目

(1) 感染予防対策(往来自粛、イベント延期、人数制限等)による影響 【139項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁		2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明	
74	313	3-1-3	140	【再掲】○県庁舎見学参加者数 (’17) 617名→(’19) ～(’22) 年間680名以上	680名	③		◎	感染防止対策を徹底の上、参加人数多数の場合は、班分けを行い実施	監察
75	316	3-2-1	141	【再掲】○各国大使館等と連携した「阿波おどり」の 海外公演及び指導者派遣回数（累計）（再掲） (’17) 4回→(’22) 30回	20回	④	海外との往来自粛・渡 航制限	◎	オンラインを活用した「阿 波おどり」の魅力発信を実施	商工
76	323	3-2-1	142	ODMOが造成した体験・滞在プログラムの参加者数 (’17) 703人→(’22) 1,000人	880人	①		◎	屋外で自然を体験できるコン テンツを新たに開発した。	西部
77	323	3-2-1	142	○ホテル・旅館以外での体験型観光延べ受入泊数 (’17) 5,024泊→(’22) 6,000泊	5,500泊	①		◎	感染防止ガイドラインを策 定するとともに衛生対策研 修を実施したほか、衛生設 備を各農家民泊等に配布 した。	西部
78	336	3-2-3	145	OLEDデジタルアートとの融合によるナイトタイム イベントの開催 (’20) 開催	－	③	感染拡大予防のため イベント中止	－	感染拡大予防のためイベ ント中止	商工
79	339	3-2-3	145	○「渦の道」、「あすたむらんど徳島」及び 「美馬野外交流の郷」の満足度数 (’17) 70%→(’22) 80%	76%	③		◎	入場時の待機列での距離 確保、サーモグラフィ導 入、受付窓口透明シート設 置等	商工
80	342	3-2-3	146	【再掲】○「西部健康防災公園」を活用したスポーツや レクリエーションでの利用者数 (’17) 91,772人→(’19) ～(’22) 年間10万人以上	10万人	③		◎	開催するイベント等を新生 活様式に対応したものに 見直した。	西部
81	355	3-3-2	149	【再掲】○とくしま農林漁家民宿の宿泊者数（西部圏域） (’17) 2,265人→(’22) 2,800人	2,600人	①		◎	コロナ禍でも継続的に宿泊 客を受け入れるため、衛生 対策研修を実施した。	西部
82	388	3-3-6	155	OEPA加盟国を対象にした商談会 (’19) ～(’22) 開催	－	②		◎	オンライン商談会の実施	商工
83	388	3-3-6	155	○海外食品フェア・機械金属見本市 (’19) ～(’22) 開催	－	②		◎	オンライン商談会の実施	商工
84	389	3-3-6	155	○県がサポートする県外・海外商談会及びフェア における成約・売上額 (’17) 3.9億円→(’22) 6.4億円	5.3億円	②		◎	オンライン商談会を開催	商工
85	390	3-3-6	155	○商談会・フェア等延べ参加企業数 (’17) 101社 →(’22) 150社	140社	②		◎	オンライン商談会を開催	商工
86	392	3-4-1	156	○小学生の英語体験活動の年間参加者数（累計） (’17) 371人→(’22) 995人	725人	③	コロナにより実施回数を削減	◎	感染防止対策を講じて実施	教育
87	392	3-4-1	156	○中学生の留学、英語体験宿泊活動の年間参加者数 （累計） (’17) 136人→(’22) 480人	340人	④	コロナにより海外留学 ができなくなったため	◎	感染防止対策を講じて、日 帰りの英語体験活動を実施	教育
88	392	3-4-1	156	○高校生の留学（疑似留学体験、海外語学研修を 含む）者数（7日以上） (’17) 174人→(’22) 240人	200人	④	外国との往来が難しく なったため	○	「徳島グローバルキャンプ」 をオンラインにて実施予定	教育
89	399	3-4-2	157	○高校におけるインターンシップの実施率 （全日制・定時制） (’17) 97.6%→(’19) ～(’22) 100%	100.0%	④	事業所の受入れが困 難であるため。	◎	事業所によっては、オンライ ンや少人数の受入れにより、 実施可能となった。	教育
90	406	3-4-2	158	○地域の企業等で販売される6次産業化商品の開発数 （累計） (’17) 1→(’22) 9商品	3商品	④	感染拡大防止による学 校の臨時休業及び活 動の自粛。	◎	R2の取組をR3に向けての 準備期間とした。また、 学校間会議などにオンライ ン会議を取り入れた。	教育
91	407	3-4-2	158	○高校生産業教育展における来場者数 (’17) 1,850人→(’22) 2,100人	2,000人	③	開催規模の縮小とソー シャルディスタンスを考 慮して開催した。	◎	オンラインによる参加も取り 入れた。	教育
92	408	3-4-3	159	○「全国学力・学習状況調査」における 県平均正答率 (’19) ～(’22) 調査で対象となっている 国語・算数（数学）で全国平均正答率以上	－	②	全国調査中止	－	全国調査のため	教育

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

2. 令和3年度当初予算等にあわせて検討する項目

(1) 感染予防対策(往来自粛、イベント延期、人数制限等)による影響 【139項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁			2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明
93	413	3-4-4	160	○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果に おいて全国平均を上回る種目数 (‘17) 11種目→(‘19) ～(‘22) 毎年17種目	17種目	②	全国調査中止	-	全国調査のため	教育
94	413	3-4-4	160	【再掲】○肥満傾向の児童生徒数(小中学校) (‘17) 4,979人→(‘22) 2017年度比6%減	3%減	④	3月からの2か月半に 及ぶ学校の臨時休業 により肥満傾向が進む という影響が考えられ る。	◎	学校の臨時休業期間から 家庭学習応援動画の配 信を行い、家庭ででき る運動や食育学習を促 進した。	教育
95	413	3-4-4	160	○栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を 半分以上の学年で実施する小・中学校の割合 (‘17) 100%→(‘19) ～(‘22) 100%	100%	④	学校の臨時休業に伴 い、授業時数の確保や 栄養教諭等が複数の 学校に出向く際のスケ ジュール調整が難しく なっている。	◎	学校の臨時休業期間から 家庭学習応援動画の配 信を行い、食育学習を促 進した。また、学校ご とにDVDやオンラインの 活用など実施方法を工 夫して取り組んでいる。	教育
96	413	3-4-4	160	○薬物乱用防止教室を開催する中・高等学校の割合 (‘17) 100%→(‘19) ～(‘22) 100%	100%	④	学校の臨時休業に伴 う授業時間数の減少の 影響により、開催が困 難な学校が生じてい る。	◎	学校ごとにDVDの活 用など実施方法を工夫 して取り組んでいる。	教育
97	415	3-4-4	160	○牟岐少年自然の家を拠点とし、地元住民との交流を 含む自然体験・交流体験等への参加者数 (‘17) 800人→(‘19) ～(‘22) 年間900人	900人	④	体験活動の需要減少 により多様な学びの機 会が減少。	◎	地域と関わりのある活 動をオンライン(動画)で 配信した。	教育
98	417	3-4-5	161	○「スーパーオンリーワンハイスchool事業」 実施校のうち、各分野の全国大会・コンクールでの 入賞数 (‘17) 3事例→(‘19) ～(‘22) 年間3事例	3事例	②	実施校が出場・申請予 定であった各種競技や 大会が中止になったも のがあり、出場自体が 制限されたため	-	全国大会のため	教育
99	423	3-4-6	162	【特別支援教育関係】 ○「ポジティブな行動支援」に取り組んだ園・学校の 割合 (‘17) →(‘22) 100%	60%	③	予定していた研修会が 実施できなかったため 理解普及に影響があ った。	◎	研修会の12月以降の2 研修会をオンライン開催 として実施	教育
100	429	3-4-7	162	【とくしま産学官連携プラットフォーム関係】 【再掲】○プラットフォームを核として実施する事業数 (‘17) →(‘19) ～(‘22) 年間8件	8件	③		◎	一部にオンラインを活用 した。	政策
101	431	3-4-7	163	○若者の対話の場への参加者数(累計) (‘17) 480人→(‘22) 1,000人	700人	④	事業の中止	-		未来
102	434	3-4-7	163	○徳島県青少年センター利用者数 (‘17) 206,729人→(‘19) ～(‘22) 年間23万人	23万人	③		○	オンライン会議等が対応 できるよう、貸出備品 としてWi-Fiルーターを 整備予定	未来
103	446	3-5-2	166	○本県への本社機能誘致(累計) (‘17) 4社→(‘22) 12社	9社	④	経営環境の悪化による	◎	コロナ禍での雇用要件 緩和の制度改正を実施	商工
104	446	3-5-2	166	○成長分野関連企業等の奨励指定における立地数 (累計) (‘17) 69社→(‘22) 110社	98社	④	経営環境の悪化による	◎	コロナ禍での雇用要件 緩和の制度改正を実施	商工
105	451	3-5-3	167	○ドイツとの職業訓練交流における企業での実習日数 (‘17) →(‘19) ～(‘22) 年間3日	3日	②	海外との往来自粛・渡 航制限	-	ドイツ側から来年度へ 延期の申し入れがあり、 R2年度は実施しない	商工
106	454	3-5-3	168	【再掲】○県内大学等への留学生受入数 (‘17) 399人→(‘22) 500人	450人	③		◎	オンラインを活用した オープンキャンパスを 実施した。	政策
107	456	3-5-3	168	【再掲】○「母子・父子自立支援プログラム」を 活用した就職率(再掲) (‘17) 56%→(‘19) ～(‘22) 56%以上	56%	④	雇用情勢の悪化	◎	支援対象者の希望に よじ、オンラインを活用	未来
108	458	3-5-3	168	○ものづくり体験イベントでの参加者数 (‘17) 940人 →(‘22) 1,060人	1,000人	③		○	来年度に向けて、少人 数での実施等を関係団 体と検討中	商工
109	460	4-1-1	170	【再掲】○徳島版「とくしま文化プログラム」の開催 (‘19) ～(‘21) 開催	-	④	県内イベントの多くが 中止となり、広報事業 が困難	○	映像制作による広報 事業を予定している	未来
110	460	4-1-1	170	【再掲】○阿波人形浄瑠璃公演等入場者数 (‘17) 36,343人→(‘22) 38,000人	37,000 人	④	関連イベントの多くが 中止となる上、入場者 の大幅な減少が予想さ れる	◎	関連施設では様々な手 法を採り入れたが、入 場者数に直結するもの ではない	未来

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

2. 令和3年度当初予算等にあわせて検討する項目

(1) 感染予防対策(往来自粛、イベント延期、人数制限等)による影響 【139項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁			2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明
111	462	4-1-1	171	○文化の森総合公園文化施設入館者数 (‘17) 814,816人→(‘22) 年間85万人	81万人	③		◎	空間除菌脱臭機、パー テーション等設置	未来
112	463	4-1-1	171	○文化の森文化施設普及事業の開催回数 (‘17) 328回→(‘19) ～(‘22) 年間330回以上	330回	③		◎	デジタルアーカイブの発信 等	未来
113	463	4-1-1	171	○文学書道館等拠点となる文化施設での講座開催回数 (‘17) 125回→(‘19) ～(‘22) 年間130回以上	130回	③	特に上期において講座 開催が困難であった	－	現時点では予定してい ない	未来
114	464	4-1-1	171	○「とくしま夏の音楽祭」への参加者数 (‘17) →(‘19) ～(‘22) 年間2,200人以上	2,200人	③	コロナ禍において出演 団体との調整が困難	－	現時点では予定してい ない	未来
115	464	4-1-1	171	○「はぐくみコンサート」開催回数 (‘17) 1回→(‘19) ～(‘22) 年間3回以上	3回	③	コロナ禍において、出 演者及び対象者との 調整が困難	－	現時点では予定してい ない	未来
116	464	4-1-1	171	○児童や生徒を対象とした人形浄瑠璃・ 邦楽の「体験型ワークショップ」の開催 (‘20) ～(‘22) 開催	－	③	コロナ禍において、出 演者及び対象者との 調整が困難	－	現時点では予定してい ない	未来
117	466	4-1-2	171	【再掲】OLEDデジタルアートとの融合によるナイトタイ ム イベントの開催 (‘20) 開催	－	③	感染拡大予防のため イベント中止	－	感染拡大予防のためイ ベント中止	商工
118	467	4-1-2	171	○国体「eスポーツ」への選手派遣 (‘19) ～(‘22) 派遣	－	④	オンライン参加となる 予定	◎	オンラインによる実施	未来
119	468	4-1-3	172	○学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数 (‘17) 10,620人*→(‘19) ～(‘22) 年間10,000人 *過去3年平均	10,000 人	④	巡回公演事業は一流 の文化芸術団体が県 外から来県するため中 止決定した学校が多い。 い。	◎	オンラインを活用したワー クショップや人数制限等 の本公演実施	教育
120	469	4-1-3	172	○あわっ子文化大使・サポーターの活動参加人数 (‘17) 118人→(‘19) ～(‘22) 年間130人	130人	③		◎	感染予防対策の徹底や無 観客オンライン配信の収 録への参加	教育
121	470	4-1-3	172	○「徳島県中学校総合文化祭」の来場者数 (‘17) 2,138人*→(‘19) ～(‘22) 年間2,500人以上 *過去3年平均	2,500人	③		◎	規模縮小しての選抜生徒 作品展や無観客小倉百人 一首競技かるた大会開催	教育
122	470	4-1-3	172	○各分野で活躍する芸術家を招いての 「中学生ワークショップ」の開催 (‘19) ～(‘22) 開催	－	④	新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため、 中止となった。	○	R2の開催については来年 に延期となったが、R3開 催に向け感染症対策の工 夫による実施方法を検討 している。	教育
123	477	4-2-1	174	○成人の週1回以上のスポーツ実施率 (‘17) 51.8%→(‘22) 65%	60.0%	④	令和2年度の調査では 68.7%と目標を達成。 緊急事態宣言により 54.2%に下落	◎	総合型地域スポーツクラ ブの活動再開支援や、県 民の運動・スポーツ習慣 の定着につなげる事業を 実施した。	未来
124	472	4-1-4	172	○ユネスコ「世界の記憶」（記憶遺産）への申請・登録 (‘20) 申請・(‘21) 登録	－	②		◎	県の協議会等はオンライ ンで実施しながら引き続 き準備を進めていく	未来
125	478	4-2-1	174	○徳島ヴォルティスホームタウンデー招待者数 (‘17) 1,732人→(‘22) 2,000人	1,900人	③		○	プロスポーツの魅力を伝 えるため関係機関と連携 した事業を実施予定	商工
126	479	4-2-1	175	○徳島インディゴソックス年間ホームゲーム招待者数 (‘17) 1,655人→(‘22) 2,000人	1,900人	③		○	プロスポーツの魅力を伝 えるため関係機関と連携 した事業を実施予定	商工
127	480	4-2-1	175	○サイクルトレインの運行 (‘19) ～(‘22) 運行	－	③		－	県内サイクリイベント中 止のため	未来
128	482	4-2-2	175	○元オリンピック選手等によるジュニア選手の指導 (‘19) ～(‘22) 実施	－	③		○	オンライン等を活用した方 法を検討	未来
129	483	4-2-2	175	○全国高等学校総合体育大会等の入賞（団体・個人）数 (‘17) 47団体・個人→(‘19) ～(‘22) 50団体・個人	50団体・ 個人	②	全国大会等が中止	－	全国大会等のため	教育
130	483	4-2-2	175	○全国中学校体育大会等の入賞（団体・個人）数 (‘17) 5団体・個人→(‘19) ～(‘22) 13団体・個人	13団体・ 個人	②	全国大会等がほぼ中 止	－	全国大会等のため	教育

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

2. 令和3年度当初予算等にあわせて検討する項目

(1) 感染予防対策(往来自粛、イベント延期、人数制限等)による影響 【139項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁		2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明	
131	489	4-3-1	178	○成人の週1回以上のスポーツ実施率 (‘17) 51.8%→(‘22) 65%	60.0%	④	令和2年度の調査では 68.7%と目標を達成。 緊急事態宣言により 54.2%に下落	◎	総合型地域スポーツクラブ の活動再開支援や、県民 の運動・スポーツ習慣化の きっかけづくりとなる事業を 実施した。	未来
132	490	4-3-1	178	○川口エネ・ミュー年間延べ体験者数 (‘17) 17,370人→(‘22) 18,500人	17,800人	③		◎	・YouTubeに川口エネ・ ミューチャンネル開設 ・サイエンスショーをケーブ ルテレビにて放送 ・「おうちでお絵かきスマー トタウン」のサービス開始	企業
133	491	4-4-1	179	○「障がい者交流プラザ」の利用者数 (‘17) 138,511人→(‘19) ～(‘22) 年間14万人	14万人	③		◎	リモート・オンライン又は空 き時間の有効活用による 講座の実施	保健
134	492	4-4-1	179	○パラアスリート育成「トップアスリート・ スクーリング」参加者数 (‘17) →(‘22) 60人	40人	④	事業実施が困難な見 通しで6月補正にて減 額	—	講師の派遣による実技指 導を内容とするが、オンラ インによる代替が困難であ るため活用を見送った。	未来
135	492	4-4-1	179	【障がい者スポーツ活動関係】 ○「ジュニア・アカデミー」参加者数 (‘17) →(‘22) 100人	80人	④	事業実施が困難な見 通しで6月補正にて減 額	—	講師の派遣による実技指 導を内容とするが、オンラ インによる代替が困難であ るため活用を見送った。	未来
136	495	4-5-1	180	○埋蔵文化財総合センター利用者数 (‘17) 11,902人→(‘19) ～(‘22) 年間12,000人	12,000 人	③		◎	3密回避やアルコール消 毒の実施等を徹底	未来
137	500	4-5-2	181	【再掲】○文化の森総合公園文化施設入館者数 (‘17) 814,816人→(‘22) 年間85万人	81万人	③		◎	空間除菌脱臭機、パー テーション等設置	未来
138	503	4-5-3	181	○アスリート・医科学サポートに関する講習会等の 開催件数 (‘17) →(‘22) 15件	13件	③		○	オンラインを活用して行う 予定	未来
139	577	5-4-2	198	【再掲】○県庁舎見学参加者数 (‘17) 617名→(‘19) ～(‘22) 年間680名以上	680名	③		◎	感染防止対策を徹底の 上、参加人数多数の場合 は、班分けを行い実施	監察

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

2. 令和3年度当初予算等にあわせて検討する項目

(2)経営環境、需要低下、サプライチェーンの混乱等の影響 【16項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁			2020 (R2)	①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明
1	13	1-1-2	76	○ふるさと起業家支援プロジェクト件数（累計） ('17) →('22) 15件	9件	④	創業時期の見直し等 の事例あり	◎	創業コーディネーターによる オンライン等を活用した 支援を実施	商工
2	14	1-1-2	76	○事業計画等の支援件数 ('17) 69件→('19) ～('22) 年間75件	75件	④	創業時期の見直し等 の事例あり	◎	創業コーディネーターによる オンライン等を活用した 支援を実施	商工
3	14	1-1-2	76	○女性の創業に対する事業計画等の認定件数 ('17) 18件→('19) ～('22) 年間18件	18件	④	創業時期の見直し等 の事例あり	◎	創業コーディネーターによる オンライン等を活用した 支援を実施	商工
4	14	1-1-2	76	○創業者に対する新規融資件数 ('17) 96件*→('19) ～('22) 年間95件 *過去3年平均	95件	④	経営環境の悪化による	◎	新型コロナ対応融資制度 を創設	商工
5	14	1-1-2	76	○「徳島のSOHO事業者サイト」登録事業者数 ('17) 105社→('22) 130社（累計）	120社	④	創業を見合わせる事 例がある	◎	創業コーディネーターによる オンライン等を活用した 支援を実施	商工
6	15	1-1-2	77	○経営革新計画達成割合 ('17) 64.7%→('19) ～('22) 毎年60%	60%	④	経営環境の悪化による	◎	支援機関によるフォロー アップ等を実施	商工
7	22	1-1-3	78	○本県への本社機能誘致（累計） ('17) 4社→('22) 12社	9社	④	経営環境の悪化による	◎	コロナ禍での雇用要件緩和の 制度改正を実施	商工
8	22	1-1-3	78	○成長分野関連企業等の奨励指定における立地数 （累計） ('17) 69社→('22) 110社	98社	④	経営環境の悪化による	◎	コロナ禍での雇用要件緩和の 制度改正を実施	商工
9	187	2-1-5	111	○「燃料電池バス」の本県導入 ('20) 導入	—	④	新型コロナウイルス感 染症拡大による水素サ プライチェーンの乱れ から、水素供給拠点の 年度内整備が困難と なったため	—		危機
10	308	3-1-2	139	○情報通信関連企業（コールセンター、 AI、ビッグデータ等）の奨励指定による集積数 ('17) 38事業所→('22) 54事業所	48 事業所	④	経営環境の悪化による	◎	コロナ禍での雇用要件緩和の 制度改正を実施	商工
11	309	3-1-2	139	○クリエイティブ関連企業数 ('17) 241社（者）→('22) 315社（者）（累計）	285社	④	経営環境の悪化による	◎	地方移転に向けた企業誘 致広報ツールを作成	商工
12	310	3-1-2	139	○4K・VR関連企業（者）数 ('17) 14社（者）→('22) 24社（者）	20社	④	経営環境の悪化による	◎	地方移転に向けた企業誘 致広報ツールを作成	商工
13	388	3-3-6	155	○徳島県の輸出額 （徳島県貿易・国際事業実態調査、中小企業分） （暦年） ('16) 175億円→('22) 249億円	224億円	②		◎	オンライン商談会の開催	商工
14	388	3-3-6	155	○徳島県の輸出企業数 （徳島県貿易・国際事業実態調査、中小企業分） （暦年） ('16) 116社→('22) 145社	137社	②		◎	オンライン商談会の開催	商工
15	530	5-2-2	189	【再掲】○「燃料電池バス」の本県導入 ('20) 導入		④	新型コロナウイルス感 染症拡大による水素サ プライチェーンの乱れ から、水素供給拠点の 年度内整備が困難と なったため	—		危機
16	531	5-2-2	189	○新たな水素供給拠点の整備 ('20) 整備		④	新型コロナウイルス感 染症拡大による水素サ プライチェーンの乱れ から、水素供給拠点の 年度内整備が困難と なったため	—		危機

コロナ禍で影響を受けている行動計画の「数値目標」一覧 【全204項目】

3. 今回見直し案を示す項目 【19項目】

通し 番号	主要 事業 番号	行動計画 該当箇所		(現 行) 数値目標	目標値	新型コロナの影響		R2年度でのニューノーマルへの 対応状況		部局
		位置 づけ	該当 頁			①観光需要の減少等 ②国際・全国イベント の延期等 ③県主催の講座・ イベント・施設等 の利用制限 ④その他	補足説明	◎対応済み ○対応予定	補足説明	
1	31	1-1-4	80	○国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の 県内開催件数（累計） ('17) →('22) 20件	10件	②		◎	直接的な交流が難しい 中、オンラインを活用した 交流を実施	未来
2	54	1-2-2	85	○「ウーマンビジネススクール」の参加者数（累計） ('17) 20人→('22) 70人	50人	③		◎	WEB開催により実施	商工
3	68	1-3-2	89	○シルバー大学校大学院における資格取得者数 （累計） ('17) 1,363人→('22) 1,860人	1,660人	④	R2年度開講中止	-		未来
4	71	1-3-3	89	○主任介護支援専門員フォローアップ研修受講者数 （累計） ('17) 39人→('22) 240人	160人	④	コロナのため県下全域 で主任介護支援専門 員の資質向上研修機 会が減少したため、受 講者数を増やす	◎	オンラインを活用して研修 を実施する予定	保健
5	130	1-5-3	101	【児童相談所職員関係】 ○研修受講者数（累計） ('17) 37人→('22) 180人	120人	④	感染防止のための研 修方法の見直し	◎	オンライン化できるものは 対応済み。 グループ演習や施設見学 等は、状況により時期を調 整	未来
6	160	2-1-2	108	○消防操法大会の実施（隔年） ('20) ('22) 実施	('21) ('23) 実 施	②		-	R3年度に、感染防止対策 を講じて開催	危機
7	161	2-1-2	108	【全国女性消防団員活性化徳島大会関係】 ○全国大会の開催 ('20) 開催	('21) 開 催	④	新型コロナ感染拡大防 止のため	-	R3年度に、感染防止対策 を講じて開催	危機
8	257	2-4-2	126	○自殺死亡率（人口10万人当たり自殺者数） ('17) 16.4→('22) 13.0以下	13.0以下	④	コロナ禍で失業率の増 加に伴い、自殺者が増 加する可能性があるた め	◎	ICTを活用した自殺対策事 業を実施（相談体制・普及 啓発の強化）	保健
9	257	2-4-2	126	○自殺予防サポーター数（累計） ('17) 32,750人→('22) 53,000人	45千人	④	コロナ禍において講座 開催数は減少	◎	オンライン講座や人数制 限での講座実施	保健
10	259	2-4-2	126	○生活保護世帯のうち働くことのできる 「その他世帯率」 ('17) 9.3%→('22) 8.5%	8.8%	④	雇い止め等で離職した 働ける方の生活保護 申請の増加	◎	タブレット端末の導入によ り非対面式の支援体制を 整備	保健
11	453	3-5-3	167	【再掲】○「ウーマンビジネススクール」の参加者数（累 計） ('17) 20人→('22) 70人	50人	③		◎	WEB開催により実施	商工
12	475	4-2-1	174	○「ワールドマスターズゲームズ2021関西」 における県内での競技大会開催 ('21) 開催	-	②		◎	2020年10月開催のオー プン競技（軟式野球）にお いてコロナ対策を講じた競 技会を開催した。	未来
13	476	4-2-1	174	【再掲】○国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流 会の 県内開催件数（累計） ('17) →('22) 20件	10件	②		◎	直接的な交流が難しい 中、オンラインを活用した 交流を実施	未来
14	475	4-2-1	174	○「東京2020オリンピック・パラリンピック」 における事前キャンプの誘致数 ('17) →('20) 6件	6件	②		◎	延期された期間を有効活 用し、安全安心な受入準 備とともにオンライン交流 を実施	未来
15	461	4-1-1	170	○各国大使館等と連携した「阿波おどり」の 海外公演及び指導者派遣回数（累計）（再掲） ('17) 4回→('22) 30回	20回	②	海外との往来自粛・渡 航制限	◎	オンラインを活用した「阿 波おどり」の魅力発信を実 施	商工
16	482	4-2-2	175	○国民体育大会天皇杯順位 ('17) 46位→('19) ～('22) 毎年30位台	30位台	②		-		未来
17	487	4-2-3	176	○公式オリパラ関連イベントへの県産食材 提供品目数（累計） ('17) →('20) 8品目	8品目	②		-	次年度に実施予定	農林
18	487	4-2-3	176	○ホストタウン対象国メニュー開発数（累計） ('17) →('20) 8メニュー	8 メニュー	②		-	次年度に実施予定	農林
19	488	4-3-1	177	【再掲】○国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流 会の 県内開催件数（累計） ('17) →('22) 20件	10件	②		◎	直接的な交流が難しい 中、オンラインを活用した 交流を実施	未来